

副専攻名 認知科学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

本副専攻は「認知」や「知識」「認識」という問題に興味を持つ全学生を対象としている。認知科学という学問領域の概要を理解し、認知過程についての基本的な知識、考え方、研究の多様性を体系的に学ぶことを目的としている。認知科学は学際的な学問であるため、概論を必修とし、各分野科目群から、主要科目を選択して履修することで、学問的体系の理解を深めることができるようカリキュラム編成がなされている。

副専攻の学習成果

- ・認知科学の概要を、体系的に理解する。
- ・認知科学の多様性を理解しつつ、幅広い基礎的知識をもつ。
- ・認知科学を構成する各領域の研究の中から、興味ある問題を見つけ出すことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
10009	認知科学概論	対象や事象を「認める」「知る」ということはどういうことか、「認知」に関する様々な研究アプローチの概要を理解する	2	2	
41001	神経心理学	人の心の働きや行動の諸現象と、その基盤となる脳神経系の働きに関する基礎的知識を習得する。	2		*
41002	認知心理学	認知心理学に関する専門的知識を習得するとともに用いられる研究法や研究成果への理解を深める。	2,3		*
41003	学習心理学	学習心理学の研究法と基本的現象について、学習機構との関連で理解できるようになる。	2,3		*
90250	幼児の人間関係指導法	人の心の基本的機能を知り、生涯発達の視点から乳幼児期の発達について理解する	4	2	
71566	言語心理学	子どもの言語獲得過程を通して、人間の心理や生得的能力、環境の役割などについて理解する	1~4	2	
41309	現代英米哲学	現代英米哲学の諸問題に関して、自分の哲学的立場を明確にもち、ディフェンスできるようになる。	2~4		
41337	現代英米哲学基礎演習	現代の英米系哲学者の著書を原典で読むことにより、哲学的思考力や読解力を身につける。	2~4		
33333	情報科学A	コンピュータやネットワークの仕組みや歴史を知り、情報科学の基礎を理解する	2~4	2	
33335	情報科学B	社会現象や自然現象など不確定現象を情報モデル化によって理解するために、情報分析の基礎を学ぶ	2~4		2
41006	人間情報処理学	記憶、思考、意思決定など人間の脳で行われる高次の情報処理のしくみを理解できるようになる	2,3		*
34020	情報科学概論	コンピュータ科学と情報処理の基礎理解のためにアルゴリズムとグラフ理論、スケジューリング理論、予測、及び待ち行列理論などを習得する	3	2	
33037	人間工学	人間の形態および機能に関する主な特性を知る。また機器・環境・作業について、人間との関わりにおいて考慮すべき視点とそれらに関係する知	2		2
33035	人体科学	分子生物学や細胞生物学における基本的な用語、脳・神経、感覚器、循環系、筋骨格系の各器官について、その構造と機能が説明できるようになること	2	2	
42162	英語認知論A	認知言語学の考え方を学び、英語の理解に役立てる。	2~4		*
42163	英語認知論B	認知言語学の考え方を学び、英語の理解に役立てる。	2~4		*
42122	英語学研究法A	英語学の各領域の研究法について理解を深める。	2~4		*
42123	英語学研究法B	英語学の各領域の研究法について理解を深め、自らの関心領域を特定する。	2~4		*
42130	英語学基礎理論序説A	英語学における基本的な理論を理解し、知識を見につける。	2~4		*

副専攻名 認知科学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

本副専攻は「認知」や「知識」「認識」という問題に興味を持つ全学生を対象としている。認知科学という学問領域の概要を理解し、認知過程についての基本的な知識、考え方、研究の多様性を体系的に学ぶことを目的としている。認知科学は学際的な学問であるため、概論を必修とし、各分野科目群から、主要科目を選択して履修することで、学問的体系の理解を深めることができるようカリキュラム編成がなされている。

副専攻の学習成果

- ・認知科学の概要を、体系的に理解する。
- ・認知科学の多様性を理解しつつ、幅広い基礎的知識をもつ。
- ・認知科学を構成する各領域の研究の中から、興味ある問題を見つけ出すことができる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期
42131	英語学基礎理論序説B	英語学における基本的な理論を理解し、知識を見につける。	2~4	*	
42154	英語学理論演習A	英語学の各理論についての理解を深める。	2~4	*	
42155	英語学理論演習B	英語学の各理論についての理解を深め、自らの関心領域を特定する。	2~4		*
42016	中国語学テーマ別演習	言語学における対照研究の概念を習得したうえで、パラレルコーパスを用いて多言語間の言語運用の異同について理解する。論文構築の技法も可能な限り訓練する。	3~4		
42012	中日対照言語学	和文中訳や中文和訳での誤用例を分析しながら、母語からの干渉を判定する基準を検討する。第二言語習得理論がとりいれた心理実験の手法も可能な限り参考にする。	2~4		
42407	フランス語学概説A	・フランス語学の基礎を学ぶ ・フランス語の何が、どのような部分が、研究テーマになるのかという問題に対し、意識をもつようになること。	2,3	*	
42408	フランス語学概説B	・フランス語学の基礎を学ぶ ・フランス語学概説 Aと同様に、言葉の問題とは何かを 継続的・発展的に考察していく習慣をつける。	2,3		*
42409	フランス語文法概説A	・フランス語学の基礎を学ぶ ・フランス語の何が、どのような部分が、研究テーマになるのかという問題に対し、意識をもつようになること。	2,3	*	
42410	フランス語文法概説B	・フランス語学の基礎を学ぶ ・フランス語学概説 Aと同様に、言葉の問題とは何かを 継続的・発展的に考察していく習慣をつける。			
42309	ドイツ語認知言語論講義A	ドイツ語について認知的観点から諸問題の理解を深める	2,3,4	*	
42310	ドイツ語認知言語論講義B	ドイツ語について認知的観点から諸問題の理解を深める	2,3,4		*
42311	ドイツ語コミュニケーション論講義A	コミュニケーションの問題からことばと人間について考える	2,3,4		*
42312	ドイツ語コミュニケーション論講義B	コミュニケーションの問題からことばと人間について考える	2,3,4	*	
42321	ドイツ語認知言語論演習A	ドイツ語について認知言語学研究の訓練をする	2,3,4	*	
42322	ドイツ語認知言語論演習B	ドイツ語について認知言語学研究の訓練をする	2,3,4		*
42323	ドイツ語コミュニケーション論演習A	コミュニケーションの問題からことばと人間について主体的に取り組む	2,3,4		*
42324	ドイツ語コミュニケーション論演習B	コミュニケーションの問題からことばと人間について主体的に取り組む	2,3,4	*	